

ふたをしっかり固定できて、手切れ性がよい
「スコッチ® 弁当容器テープ 629」 発売
～伸びる中食市場、誰でも開封しやすいお弁当へのニーズに対応～

スリーエム ジャパン株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役社長：デニス・ラザフォード）は7月1日、スーパーや惣菜店で販売する弁当の容器向けに、優れた手切れ性を持ち従来よりも開封しやすい「スコッチ® 弁当容器テープ 629」を発売します。



スコッチ® 弁当容器テープ 629（左）と使用イメージ（右）

コンビニエンスストアやスーパー、デパートで販売しているお弁当・惣菜など、すでに調理され持ち帰って職場や家庭でそのまま食べられる「中食」市場が伸びています。この背景として、単身世帯や夫婦のみの世帯が増えたこととともに、高齢者の増加があるといわれています。

お弁当や惣菜の容器のふたを固定するために、従来は容器全体をラップで包んだり、透明なテープでふたを止めたりしていました。しかし、ラップをすべてはがす作業は大変であったり、従来のテープは手で切れにくいため貼ってあるテープをすべて引きはがさないと開けることができなかつたりなど、容器の開封に多くの手間がかかっていました。特に年配の方では、透明なテープを見つけることが難しく、加えてラップやテープをはがす作業も負担がありテープをはがす際に弁当自体を落としてしまうなどの課題もありました。そのため、開封しやすく、視認性の高い弁当専用のテープが求められていました。

新製品の「スコッチ® 弁当容器テープ 629」は弁当容器に貼った状態でも手切れ性がよく、無理な力を加えずにテープを切ることができるため、簡単に弁当を開けることができます。

当社が実施した使用者テスト（N=76）では、73%の人が従来のテープと比較して開けやすいと回答しました。

また、弁当を製造する現場でも使いやすく設計されています。容器のふたを固定する作業の際には、テープを引き出す力が重過ぎると作業効率が悪くなり、軽すぎると適切な長さで切ることが難しくなります。本製品は、手軽に引き出すことができる最適な仕様になっているなどお弁当・惣菜を購入する消費者、製造者両者に配慮した製品です。

【製品仕様】

	サイズ	素材	価格
スコッチ® 弁当容器テープ 629	15mmX50m	ポリプロピレン	オープン

「スコッチ® 弁当容器テープ 629」は主に梱包資材商社、各種インターネット通販などを通じて販売します。

「スコッチ® 弁当容器テープ 629」は6月13日（火）～6月16日（金）
東京ビックサイトで開催される FOOMA JAPAN 2017 に出展します。
スリーエム ジャパン株式会社 ブース 2P-03

スコッチ® 弁当容器テープ 629 に関するお問い合わせは、
カスタマーコールセンター TEL: 0570-011-511

3M、スコッチは、3M社の商標です。